

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		KTR野田川駅整備事業					
事業の概要		<p>本駅は本町で唯一の鉄道駅であり、多くの方々に利用されているところであるが、本駅前に設置された自転車置場が、経年劣化による腐食や構造上の問題から、利用者や近隣住民に危険な状態となっているため、安全性の確保を図るものである。</p> <p><内容> 野田川駅前自転車置場雨樋等修繕 (各軒樋、縦樋、釣り金物、化粧フレーム撤去及び新設、化粧フレームの処水止め面戸前面取り付け)</p>					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	152	本年度事業費	152	交付金交付額	68
事業評価	事業の必要性	自転車置場の屋根及び雨樋が、経年劣化による腐食や構造上の問題から、利用者や近隣住民に危険な状態となっているため、適切な改善を図り安全性を確保する必要がある。					
	事業の有効性	本事業により、駅利用者や近隣住民の利便性の向上、安全性の確保が実現でき、利用客数の増加につながるものである。					
	事業の効率性	適切な改善を行うことにより、本町の住民にとって非常に重要な足となっているKTR線をより使いやすいものとし、本町の玄関口となる野田川駅を魅力あるものにする。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 適切な改善を図り安全性を確保することにより、利便性の向上が図られ、地域住民の生活交通手段としてのさらなる利用促進に資する。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果 本町唯一の駅にかかわる施設の充実を図り利便性を向上させることは、駅の利用客の満足度を向上させるだけでなく、豊かなまちへの第一歩となり町全体の活性化につながるものである。							
5 行財政改革に資する成果 北近畿タンゴ鉄道(KTR)の利用を促進するとともに、経営支援と鉄軌道・施設整備に対する支援を行うことで、利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を図るものである。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。